

2026年6月24日

各 位

会社名 ソーシャルワイヤー株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 矢田 峰之  
 (コード番号：3929 東証グロース)  
 問合せ先 管理部 部長 笹川 友幸  
 (TEL. 03-5363-4872)

**上場維持基準への適合に向けた計画(改善期間入り)について**

当社グループは、2026年3月31日時点（以下「基準日」といいます。）において、東京証券取引所グロース市場（以下「グロース市場」といいます。）の上場維持基準のうち時価総額基準（40億円以上）に適合しない状況となり、改善期間入りすることとなりました。下記のとおり上場維持基準への適合に向けた計画を作成いたしましたので、お知らせいたします。

**1. 当社グループの上場維持基準への適合状況および計画期間**

当社グループの基準日時点におけるグロース市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、時価総額については基準に適合しておりません。

なお、時価総額基準について、次の基準日である2027年3月31日時点で適合できなかった場合、当社グループ株式は上場廃止となるおそれがあります。具体的には、当該基準日時点で時価総額基準に適合していない場合には、当該基準日時点で整理銘柄に指定され、当社グループの株式は2027年10月1日に上場廃止となります。時価総額基準の適合は、事業年度の末日以前3か月間における東京証券取引所の売買立会における当該株券等の日々の最終価格の平均に、当該事業年度の末日における上場株券等の数を乗じて得た額で審査されます。

今回不適合となった基準	時価総額
当社グループの適合状況（2026年3月31日時点）	3,520百万円
上場維持基準	4,000百万円
計画期間	2027年3月末まで

(注) 上記の表については、株式会社東京証券取引所から受領した書面「上場維持基準（時価総額基準）への適合状況について」に基づき、不適合項目のみを記載しております。

## 2. 上場維持基準への適合に向けた取組の基本方針

グロース市場の上場維持基準への適合に向け、「時価総額の向上」を基本方針といたします。当社グループは、インフルエンサーPR 事業を軸に持続的な成長戦略に加え、M&A 等による非連続的成長を追求しつつ、AI 等のテクノロジー基盤を活用し、短期的な株価への対応に偏ることなく、事業成長の実現および資本市場との対話・情報開示の充実を両輪として取り組んでまいります。

## 3. 上場維持基準の適合に向けた課題と取組内容

### (1) 課題

当社グループは、事業構造改革および成長領域へのシフトを進めておりますが、その成果および将来成長性について資本市場への発信が十分ではなかったと認識しております。

成長戦略の進捗・収益構造の転換・将来の成長可能性等について、施策の実行と成果の積み上げ、中長期の企業価値向上に向けた成長戦略の実行、収益性の継続的改善、中長期計画の着実な実行および情報開示、IR 活動の強化が重要な課題であると認識しています。

なお、当社の時価総額は基準値との差が一定程度にとどまっており、中期事業計画の着実な実行により適合を目指してまいります。

### (2) 取組内容

#### ① 業容の拡大

当社グループは、2023 年3月期および2024 年3月期において、シェアオフィス事業の撤退に関連し、大幅な撤退損失を計上し、厳しい経営環境となりました。この状況に対し、当社グループは、2025 年3月期において株式会社ジーニーとの資本業務提携を実施し、財務基盤を強化するとともに、M&A および成長投資を推進してまいりました。

財務基盤の確保により、デジタル PR 事業における新機能開発投資や、M&A 費用を確保し、各プロダクトの強化を行いました。その結果、2025 年3月期においては、売上高 2,905 百万円、営業利益 136 百万円、2026 年3月期においては、売上高 3,513 百万円、営業利益 227 百万円となりました。2025 年5月13日付のプレスリリース「通期決算説明資料（事業計画および成長可能性に関する事項）」における2028 年3月期中期ターゲットである、売上高 50 億円、営業利益 8 億円の達成に向け、グロース市場が求める高い成長性の実現を目指してまいります。

上記の当社グループの事業計画の推進による企業価値の向上につきまして、2026 年5月15日付のプレスリリース「2026 年3月期 通期決算説明資料（事業計画および成長可能性に関する事項）」に基づき事業を展開してまいります。

当該説明資料の詳細は以下の URL をご参照ください。

[https://ssl4.eir-parts.net/doc/3929/ir\\_material\\_for\\_fiscal\\_yr/203970/00.pdf](https://ssl4.eir-parts.net/doc/3929/ir_material_for_fiscal_yr/203970/00.pdf)

なお、本計画の実効性を確保するため、当社は主要 KPI の定期的なモニタリングおよび取組進捗のレビューを実施し、その内容について継続的に開示するよう努めてまいります。

## ②株主還元

当社グループは、株主還元（利益配分）を経営上重要な政策として認識しております。

将来にわたる安定的な企業成長と経営環境の変化に対応するために必要な内部留保を図るとともに、事業環境の変化や資本政策の状況等を踏まえ、成長投資とのバランスを確保しつつ、より柔軟かつ機動的で戦略的な株主還元を実施することを還元方針としております。

当方針や財政状態、業績動向等を総合的に勘案した結果、2026年5月15日付のプレスリリース「株主還元方針の見直しおよび株主優待制度の再開並びに変更（分配型）に関するお知らせ」に記載のとおり、株主優待制度の再開並びに変更を行い、2027年3月期において、対象株主様に対し株主還元総額15,000千円を目安としたデジタルギフトを贈呈することと致しました。

今後におきましても、当社グループ株式の現在の株価水準を踏まえ、投資金額との関係において、株主の皆様にとって魅力ある還元内容となるようさらなる株主還元の向上を検討してまいります。

## ③IR活動の強化

当社グループは、適時開示に加え、プレスリリース等を通じた任意開示も積極的に行い、IR・PR活動を推進してまいります。具体的には、代表取締役における四半期ごとのメッセージ発信の継続、年2回行っておりました投資家説明会を各四半期ごとに実施し、個人・機関投資家との対話の拡充を実施してまいります。

また、投資家説明会に先駆け、動画配信を実施しており、当社グループの取組内容や進捗への理解を深めていただき、成長性・将来性に対する信頼を高めることで、投資家・株主の皆様の適切な投資判断に資してまいります。

## ④市場区分に関する検討

当社グループは、グロース市場における上場維持基準への適合を最優先課題として取り組んでまいります。そのうえで、企業価値向上および株主層の拡大の観点から、当社グループにとって最適な市場区分について継続的に検討してまいります。なお、スタンダード市場への市場区分変更につきましては、今後の事業成長や株主構成、市場環境等を総合的に勘案し、株主価値向上に資する市場区分を選択してまいります。

当社は、上記施策を着実に実行することで、計画期間内における上場維持基準への適合を達成するとともに、その後も持続的な企業価値および時価総額の向上を実現してまいります。

以上